

Subscriber Manager の GUI ツールの使用方法

この章では、Subscriber Manager (SM) の GUI ツールを使用して、Cisco Service Control Management Suite (SCMS) Subscriber Manager (SM) データベースでサブスクリイバを設定する方法について説明します。

SM GUI ツールは、SCMS-SM がサブスクリイバのスタティック リストを維持している場合、特に便利です。Cisco Service Control Application for Broadband (SCA BB) がサブスクリイバレス モードまたはアノニマス サブスクリイバ モードで動作している場合は該当しません。

- [SM GUI ツールの使用 \(p.11-2\)](#)
- [サブスクリイバ CSV ファイルの処理 \(p.11-6\)](#)
- [サブスクリイバの管理 \(p.11-8\)](#)

SM GUI ツールの使用

SM GUI ツールでは、SCMS-SM でサブスライバを管理できます。SCMS-SM は、OSS プラットフォームと Service Control Engine (SCE) プラットフォームの間を橋渡しするミドルウェア ソフトウェアとして機能します。SCE プラットフォームはサブスライバ情報を使用して、サブスライバウェア機能、サブスライバ単位のレポート作成、およびポリシー適用を行います。サブスライバ情報は SCMS-SM データベースに格納され、実際のサブスライバ配置に従って、複数のプラットフォーム間で配信できます。

SM GUI ツールを使用してサブスライバファイルのインポートとエクスポートを行ったり、新しいサブスライバの追加、既存サブスライバのパラメータの編集、サブスライバの削除というような各サブスライバの操作を行ったりすることができます。



(注)

SM GUI ツールから SCMS-SM にアクセスするには、Network Navigator ツールの Site Manager ツリーに SCMS-SM を追加する必要があります。

SM GUI ツールでは、SM コマンドライン ユーティリティが提供する機能の一部しか提供されません。SCMS-SM の詳細については、『Cisco Service Control Management Suite Subscriber Manager User Guide』を参照してください。

- [SCMS-SM への接続 \(p.11-2\)](#)
- [現在の SCMS-SM からの切断 \(p.11-5\)](#)

SCMS-SM への接続

SCMS-SM には次のように接続できます。

- Network Navigator ツールから
- Console のあらゆる場所から
- Subscriber Manager の GUI ツールから



(注)

SM GUI ツールは、ポート 14374 への PRPC 接続を開き、Password Management ダイアログボックスに入力されたユーザ名とパスワードを使用してログインしようとして、SCMS-SM で認証を実行します。このユーザを含む PRPC サーバが SCMS-SM で動作していない場合、認証はエラーになります。

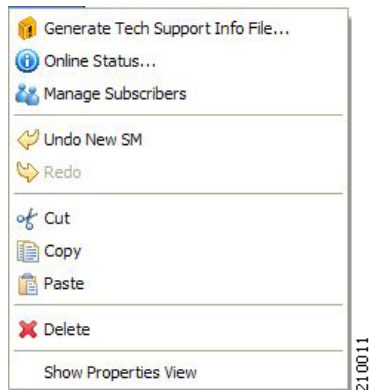
- [Network Navigator から SCMS-SM への接続 \(p.11-2\)](#)
- [Console から SCMS-SM への接続 \(p.11-4\)](#)

Network Navigator から SCMS-SM への接続

ステップ 1 Network Navigator タブの Site Manager ツリーで SM デバイスを右クリックします。

ポップアップメニューが表示されます。

図 11-1



ステップ 2 メニューから **Manage Subscribers** を選択します。

Password Management ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 3 適切なパスワードを入力します

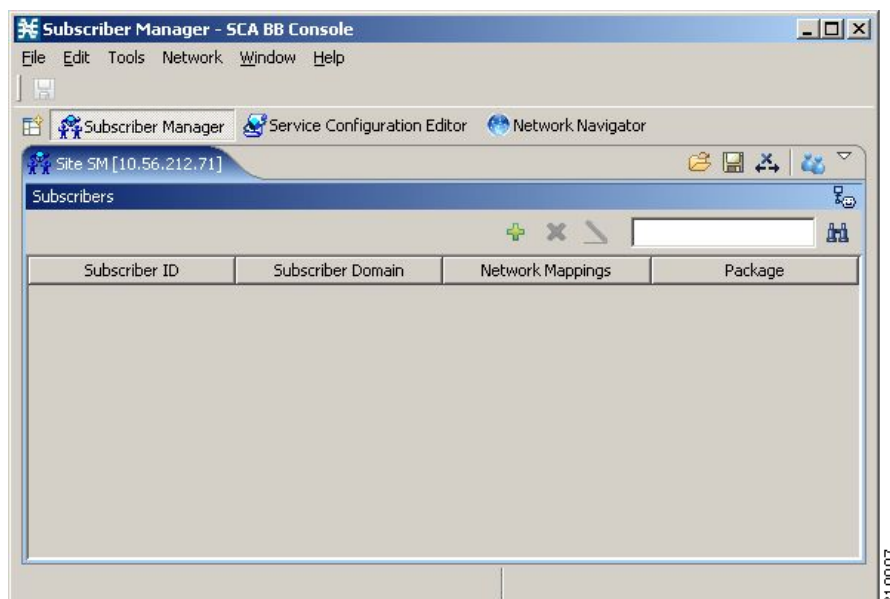
ステップ 4 **Connecting** をクリックします。

Password Management ダイアログボックスが閉じます。

接続の経過表示バーが表示されます。

システムが SCMS-SM に接続します。📁 (**Import subscribers from CSV file**)、
 📄 (**Export subscribers to CSV file**)、🔌 (**Disconnect from SM**) が有効になります。

図 11-2



Console から SCMS-SM への接続



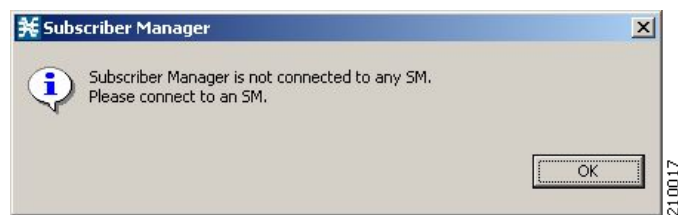
(注) (SM GUI ツールがすでに表示されている場合は、ステップ 3 から始めます。)

ステップ 1 Console のメインメニューから、**Tools > Subscriber Manager** の順に選択します。

SM GUI ツールが開きます。

Subscriber Manager が接続されていないというメッセージが表示されます。

図 11-3



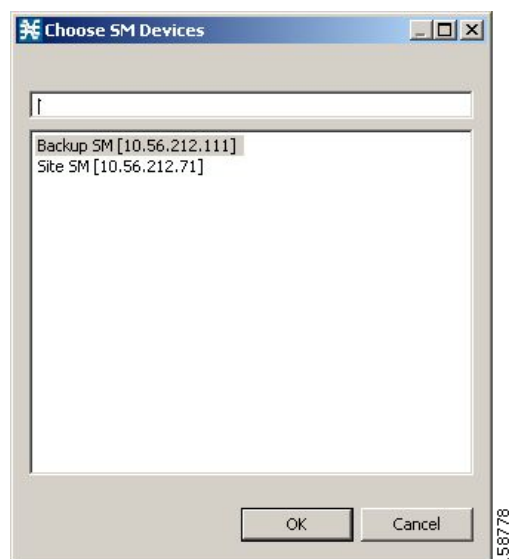
ステップ 2 **OK** をクリックします。

Subscriber Manager が接続されていないというメッセージが閉じます。

ステップ 3 SM GUI ツールバーで  (**Connect to an SM**) をクリックします。

複数の SCMS-SM デバイスを Network Navigator で設定している場合は、Choose SM Devices ダイアログボックスが表示されます。

図 11-4



ステップ 4 デバイスを選択して **OK** をクリックします。

Password Management ダイアログボックスが表示されます。




ステップ 5 適切なパスワードを入力します

ステップ 6 **Connecting** をクリックします。

Password Management ダイアログボックスが閉じます。

接続の経過表示バーが表示されます。




システムが SCMS-SM に接続します。

 (Import subscribers from CSV file)、 (Export subscribers to CSV file)、および  (Disconnect from SM) が有効になります。

現在の SCMS-SM からの切断

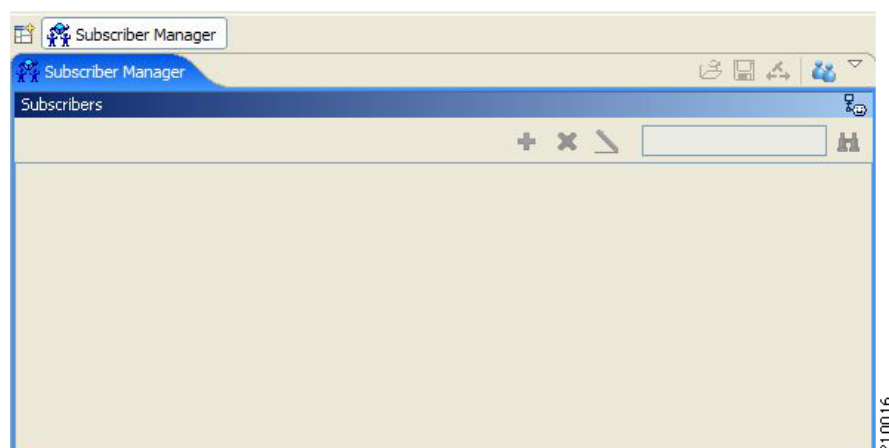
ステップ 1 SM GUI ツールバーで  (Disconnect from SM) をクリックします。

Console が SCMS-SM から切断しますが、SM GUI ツールは開いたまま残ります。

 (Import subscribers from CSV file)、 (Export subscribers to CSV file) および  (Disconnect from SM) が無効になります。

サブスクライバリストは空になります。

図 11-5



210016

サブスクリバ CSV ファイルの処理

システムに導入する必要があるサブスクリバ数が多いため、サブスクリバ情報を手動で入力するのは適切ではありません。通常は、RADIUS サーバや同様な送信元でサブスクリバ情報を生成してから、SM GUI ツールにインポートします。

更新したサブスクリバ情報を CSV ファイルにエクスポートすることもできます。

サブスクリバ CSV ファイルの形式については、『Cisco Service Control Application for Broadband Reference Guide』の「CSV File Formats」の章を参照してください。

- CSV ファイルを使用したサブスクリバ情報のインポート (p.11-6)
- CSV ファイルへのサブスクリバ情報のエクスポート (p.11-7)

CSV ファイルを使用したサブスクリバ情報のインポート

CSV ファイルにエクスポートされたサブスクリバデータを SM GUI ツールにインポートできます。

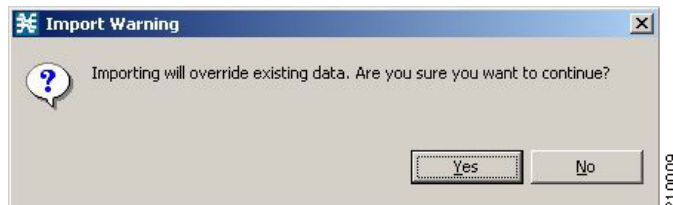
ステップ 1 SM GUI ツールバーの  (**Import subscribers from CSV file**) をクリックします。

Import from File ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 2 インポートするファイルを選択し、**Open** をクリックします。

Import Warning メッセージが表示されます。

図 11-6



ステップ 3 **Yes** をクリックします。

Import from File ダイアログボックスが閉じます。

選択したファイルが SM GUI ツールにインポートされ、インポートされたサブスクリバがサブスクリバリストにリスト表示されます。

CSV ファイルへのサブスクリイバ情報のエクスポート

サブスクリイバ情報を CSV ファイルにエクスポートできます（たとえば SCMS-SM データベースのデータを更新した場合など）。

ステップ 1 データを保存するサブスクリイバを選択します（「サブスクリイバの選択」 [p.11-9] を参照）。

ステップ 2 SM ツールバーの  (**Export subscribers to CSV file**) をクリックします。

Export to File ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 3 エクスポート ファイルを保存するフォルダを選択します。

ステップ 4 File name フィールドにファイル名を入力します。

ステップ 5 **Save** をクリックします。

Export to File ダイアログボックスが閉じます。

選択したサブスクリイバが CSV ファイルに保存されます。

サブスクリイバの管理

サブスクリイバをシステムにインポートしたら、データベースの保守および更新を行うことができます。

次の操作を実行できます。

- サブスクリイバの追加
- 既存サブスクリイバの情報の編集
- サブスクリイバの削除

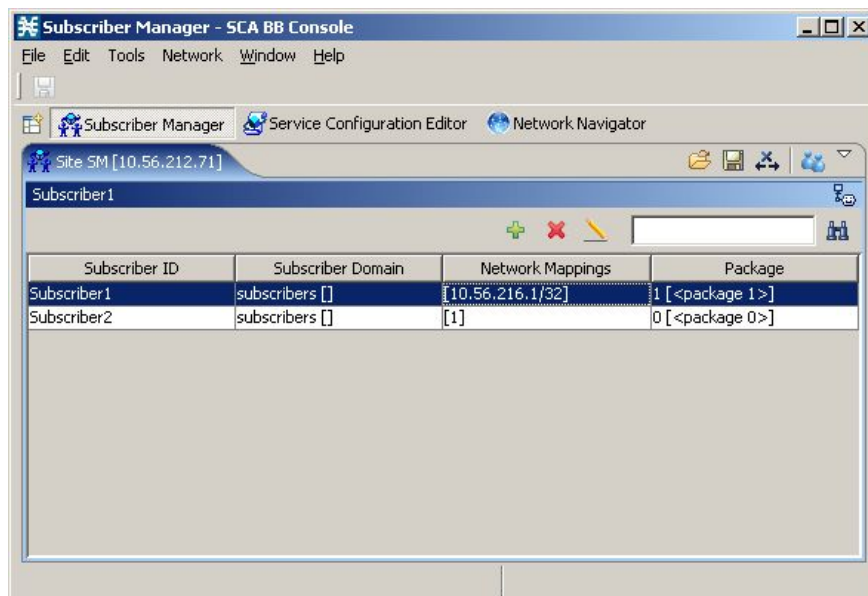
サブスクリイバ情報

SCA BB に現在導入されているすべてのサブスクリイバは、SM GUI ツールのリストに表示されます。それぞれのサブスクリイバまたはサブスクリイバのグループを管理するには、このリストを使用します。サブスクリイバのサブセットを表示するには検索機能を使用します（「[サブスクリイバまたはサブスクリイバグループの検索](#)」 [p.11-9] を参照）。

サブスクリイバリストには次のカラムがあります。

- **Subscriber ID** — システムにおけるサブスクリイバの名前
- **Subscriber Domain** — サブスクリイバに割り当てられているドメイン。各ドメインに属す SCE プラットフォームの名前は角カッコ内に表示されます。
- **Network Mappings** — サブスクリイバにマッピングされた IP アドレス、IP アドレス範囲、または VLAN（仮想 LAN） タグ
- **Package** — サブスクリイバに割り当てられたパッケージ ID。パッケージの名前は角カッコ内に表示されます。

図 11-7



サブスクリイバの検索および選択

使いやすいように、SM GUI ツールには次の 2 つの標準機能が組み込まれています。

- 検索 — 特定のサブスクリイバを検索します。
- 多重選択 — 複数のサブスクリイバからなるサブスクリイバ範囲を選択します。

サブスクリイバまたはサブスクリイバグループの検索

この機能は、サブスクリイバ ID プレフィックスに従って特定のサブスクリイバまたはサブスクリイバグループを検索する場合に使用します。特定サブスクリイバまたはサブスクリイバのグループのパラメータを修正する場合に便利です（「[サブスクリイバの詳細編集](#)」 [p.11-12] を参照）。

ステップ 1 照合するプレフィックスを検索フィールド（下の図を参照）に入力します。

図 11-8



ステップ 2 (Find Subscribers) をクリックします。

指定したプレフィックスと一致するサブスクリイバのみが、サブスクリイバリストに表示されます。

サブスクリイバの選択

サブスクリイバリストに表示されているサブスクリイバを選択し、サブスクリイバのグループを同時に編集、エクスポート、削除できます。選択できるサブスクリイバグループは、次のいずれかです。

- 連続する一連のサブスクリイバ
- 連続しない一連のサブスクリイバ

サブスクリイバ範囲の選択

ステップ 1 範囲の先頭のサブスクリイバを選択します。

ステップ 2 Shift キーを押した状態で、範囲の最後のサブスクリイバをクリックします。

範囲内のすべてのサブスクリイバが選択されます。

この機能を検索機能と組み合わせて、特定サブスクリイバを検索して表示してから、範囲全体を選択できます。

連続しない複数のサブスクライバの選択

ステップ 1 Ctrl キーを押した状態でサブスクライバを選択します。

一連のサブスクライバを選択する機能とこの機能を組み合わせて、一連のサブスクライバを選択してから別のサブスクライバを選択できます。

サブスクライバの追加

それぞれのサブスクライバを SCMS-SM に追加できます。

多くのサブスクライバを追加するには、RADIUS (または DHCP) サーバから CSV ファイルに情報をエクスポートしたあと、その CSV ファイルをインポートします (「[サブスクライバ CSV ファイルの処理](#)」 [p.11-6] を参照)。

ステップ 1 SM ツールバーの **+** (Add Subscriber) をクリックします。

Add A New Subscriber ダイアログボックスが表示されます。

図 11-9



ステップ 2 サブスクライバを識別するテキストを Subscriber ID フィールドに入力します。

ステップ 3 新しいサブスクライバに適したドメインを Subscriber Domain ドロップダウン リストから選択します。

ステップ 4 Subscriber Package ドロップダウン リストで、このサブスクライバに割り当てるパッケージを選択します。

リストの内容は、選択したサブスクライバドメインによって決まります。

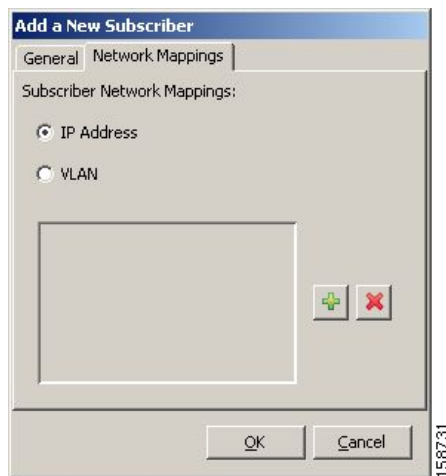
ステップ 5 サブスクリイバのリアルタイム モニタを有効にするには、**Activate Subscriber Real-time Monitoring** チェック ボックスをオンにします。SCE アプリケーションは、このサブスクリイバの Real-Time Subscriber Usage RDR を生成します。詳細については、「Managing Real-Time Subscriber Usage RDRs」を参照してください。

このサブスクリイバのネットワーク マッピングを定義しない場合は、ステップ 11 に進みます。

ステップ 6 **Network Mappings** タブをクリックします。

Network Mappings タブが開きます。

図 11-10



サブスクリイバのネットワーク ID として、IP アドレスまたは VLAN タグがサポートされています。

ステップ 7 Subscriber Network Mappings オプション ボタンのうちいずれかを選択します。

- IP Address
- VLAN

ステップ 8 前のステップで選択したタイプのネットワーク マッピングを追加するには、**+** (**Add**) をクリックします。

新しいネットワークマッピング エントリがサブスクリイバ ネットワーク マッピング リストに追加され、デフォルト値が表示されます。

ステップ 9 ネットワークマッピング エントリを編集します。

図 11-11



ステップ 10 その他のネットワーク マッピングにステップ 8 および 9 を繰り返します。

ステップ 11 **OK** をクリックします。

Add A New Subscriber ダイアログボックスが閉じます。

新しいサブスクリバが、データベース、および SM GUI ツールに表示されるサブスクリバリストに追加されます。

サブスクリバの詳細編集

単一サブスクリバまたはサブスクリバグループのパラメータを編集できます。

- [単一サブスクリバの編集 \(p.11-12\)](#)
- [サブスクリバグループの詳細編集 \(p.11-14\)](#)

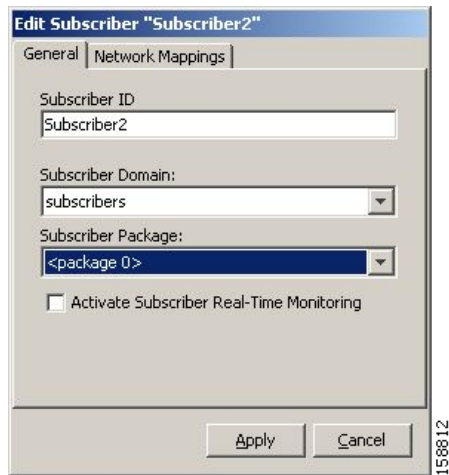
単一サブスクリバの編集

ステップ 1 サブスクリバを選択します (「[サブスクリバまたはサブスクリバグループの検索](#)」 [p.11-9] を参照)。

ステップ 2 SM ツールバーの  (**Edit Subscriber**) をクリックします。

Edit Subscriber ダイアログボックスが表示されます。

図 11-12



ステップ 3 サブスクリイバの詳細を次のように修正します。

- Subscriber ID フィールドのエントリを編集します。
- Subscriber Domain ドロップダウン リストで、サブスクリイバ ドメインを選択します。
- Subscriber Package ドロップダウン リストで、このサブスクリイバに割り当てるパッケージを選択します。
リストの内容は、選択したサブスクリイバ ドメインによって決まります。

• **Activate Subscriber Real-time Monitoring** チェック ボックスをオンまたはオフにします。
このサブスクリイバのネットワーク マッピングを編集しない場合は、ステップ 6 に進みます。

ステップ 4 **Network Mappings** タブをクリックします。

Network Mappings タブが開きます。

図 11-13



ステップ 5 サブスクリバのネットワーク マッピングを次のように修正します。

- a. **Subscriber Network Mappings** オプション ボタンのうちいずれかを選択します。
 - IP Address
 - VLAN
- b. 新しいネットワーク マッピングをリストに追加するには、**+** (**Add**) をクリックし、Subscriber Network Mappings リストに追加するネットワークマッピングのフィールドを編集します。
- c. ネットワーク マッピングをリストから削除するには、サブスクリバのネットワーク マッピングのリストからエントリを選択して **×** (**Delete**) をクリックします。

ステップ 6 **Apply** をクリックします。


Edit Subscriber ダイアログボックスが閉じます。

修正したサブスクリバ情報がデータベースに保存され、SM GUI ツールのサブスクリバリストに表示されます。

サブスクリバ グループの詳細編集

同一パッケージまたはドメインを多くのサブスクリバに同時に割り当てることができます。

ステップ 1 修正するサブスクリバのグループを選択します（「サブスクリバの選択」 [p.11-9] を参照）。

ステップ 2 SM ツールバーの  (**Edit**) をクリックします。

Edit Multiple Subscribers ダイアログボックスが表示されます。

図 11-14



Subscriber ID フィールドおよび Network Mappings タブは使用できません。

ステップ 3 General タブのフィールドを修正します。

- Subscriber Domain ドロップダウン リストで、サブスクリイバ ドメインを選択します。
- Subscriber Package ドロップダウン リストで、このサブスクリイバに割り当てるパッケージを選択します。
リストの内容は、選択したサブスクリイバ ドメインによって決まります。
- **Activate Subscriber Real-time Monitoring** チェック ボックスをオンまたはオフにします。

ステップ 4 Apply をクリックします。

Edit multiple Subscribers ダイアログボックスが閉じます。

修正したサブスクリイバ情報がデータベースに保存され、SM GUI ツールのサブスクリイバリストに表示されます。

データベースからのサブスクリイバの削除

ステップ 1 単一サブスクリイバまたはサブスクリイバのグループを選択します（「[サブスクリイバの選択](#)」[\[p.11-9\]](#)を参照）。

ステップ 2 SM ツールバーの **✖ (Delete Subscriber)** をクリックします。

選択したサブスクリイバを削除する前に、システムから確認を求められます。

図 11-15



ステップ 3 Yes をクリックして確認します。

選択したサブスクリイバはデータベースから削除され、SM GUI ツールに表示されるサブスクリイバリストから削除されます。

